

ウェディングの“感動”を、形に残す

フォトウェディングで  
注目が集まるアクリル

Created by



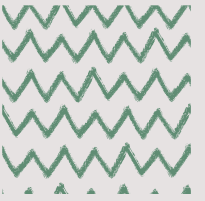
# はじめに

フォトウェディングの需要は近年急速に高まり、特に「自分たちらしさ」を重視する夫婦が増えています。SNSでの拡散を目的とした“見せる写真”に加え、撮影体験そのものを「思い出として残す」ニーズが拡大中です。

その一方で、フォトスタジオ目線で考えると、写真データの納品だけでは差別化が難しくなっています。こうした中、注目されているが「形として残す」付加価値の提案です。

データでは伝わらない“存在感”を提供することが、リピーター獲得や口コミ拡散のきっかけになります。アクリルスタンドは、その新しい選択肢として注目されています。





# 目次



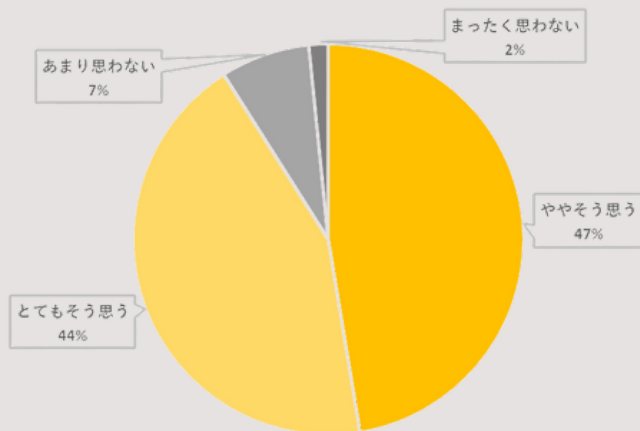
- ・ フォトスタジオ業界のトレンドと顧客ニーズ
- ・ 「写真 +  $\alpha$ 」の提案が選ばれる理由
- ・ 人気上昇中！フォトスタジオで広がるアクリルスタンド
- ・ 「続く感動」がリピートを作る
- ・ アクリル製品の例

# フォトスタジオ業界のトレンドと顧客ニーズ

フォトスタジオ市場は、従来の「記念撮影」から「体験価値提供」へと大きくシフトしています。特にフォトウェディング分野では、式を挙げない夫婦が増加し、“撮影自体をイベントとして楽しむ”傾向が顕著です。

加えて、写真データ納品だけでは満足せず、「形として残したい」という要望も拡大中です。(株)アスカネットが実施したアンケートによると フォトブックやフォトグッズなど、“**カタチあるもの**”として残すと写真の価値が高まると感じる人は全体の**91.0%**にもものぼることがわかっています。

以上より、撮影後のグッズ販売がスタジオ収益の新柱になりつつあると言え、こうした背景から、フォトスタジオには“データの先を提案する力”が求められていると考えられます。



Q：「フォトブックやフォトグッズなど“カタチあるもの”として残すと、写真の価値が高まると感じますか



# 「写真+α」の提案が選ばれる理由

今の顧客は“日常でも飾れる記念品”を求めています。アクリルスタンドやアクリルプレートのような商品は、部屋や職場に飾れるだけでなく、家族や友人へのプレゼントとしても人気が高まっています。撮影体験の余韻を、生活空間で長く楽しめる点が大きな魅力です。

さらに、オプション販売やギフト提案を通じて単価アップを狙える点も、フォトスタジオにとって大きなメリット。顧客満足と収益性を両立する“写真+α”の提案が、これからの新定番です。



# 人気上昇中！フォトスタジオで広がる アクリルスタンド

アクリルスタンドはもともとキャラクターグッズとしてよく利用されていましたが、今やフォトスタジオ業界でも急速に浸透しています。背景を透明に抜いた人物写真は、まるでその瞬間を切り取ったようなリアリティを生み出します。

ウェディングフォトや結婚式では、新郎新婦のアクリルスタンドが式場装飾にも活用されるケースも。七五三や成人式では、成長記録や家族写真と組み合わせて販売されるなど、活用の幅は年々広がっています。SNS映え・ギフト・店舗装飾と、どんな層にも刺さる汎用性が、アクリルスタンドの強みです。



# 「続く感動」がリピートを作る

フォトスタジオの価値は、撮影当日の仕上がりだけでは決まりません。お客様が自宅で写真を飾り、その瞬間の空気を思い出してもらう一度幸せを感じられるとき、ブランド体験は完成します。

アクリルスタンドやフォトプレートといった「形に残るアイテム」は、その感情を日常に持ち帰る“体験の延長線”です。データ配布だけでは見返されにくい今、モノとして目につく場所にあることで、お客様が自然と撮影の思い出を思い出し、フォトスタジオの存在を再認識してくれます。

「思い出してもらえ」ことが、リピートや紹介につながる最大の要因です。形にすることで顧客満足度が高まり、家族や友人との会話の中でも写真の話題が生まれやすくなります。

撮影の感動をその場で終わらせず、家庭や職場に“続く感動”を提供できるスタジオこそ、選ばれ続けるブランドへと進化できるのです。



# アクリル製品の例

アクリルが持つ「透明感」と「光の反射」は、写真や洋菓子との相性が抜群です。当社はこれまで、洋菓子業界向けに多彩なアクリル商材を提供してきました。

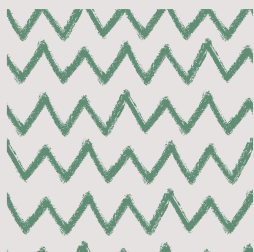
ケーキトッパーやアクリルピックは、ケーキを華やかに演出するだけでなく、使用後に自宅でインテリアとして飾れる“二次利用”が可能なアイテムです。

特別な日の思い出を「その場限り」で終わらせず、日常の中に残せることが、アクリルの新しい価値として注目されています。



ケーキを飾った後は、お部屋のインテリアとして再利用できるため、SDGsの観点からも注目されています





## まとめ

フォトスタジオの役割は、単に“写真を撮る場所”から、“人生の節目をデザインする場所”へと変化しています。撮影体験を「データ」で終わらせず、「形として残す」ことで、顧客に新しい感動を届けることができます。アクリルスタンドは、その第一歩として最適な商材です。透明感・耐久性・発色の良さを兼ね備え、ウェディング・家族写真・記念撮影など、あらゆるシーンにマッチします。写真の価値を“記録”から“記憶の形”へと昇華させる提案は、顧客満足だけでなく、スタジオのブランド力強化にもつながります。

これからのフォトスタジオには、“体験の先に残るカタチ”を提供する発想が求められています。



[アクリル製品の詳細は  
こちらをクリック](#)

# Contact

メール、お電話、ホームページの  
お問い合わせフォームより、  
お問い合わせください。



cake@yuuki-k.co.jp



<https://yuuki-k.co.jp>



048-684-9081